

CAPワークショップ実施にあたっての基本的感染防止対策について

～「持ち込まない・持ち出さない・拡げない」ために～

2023年4月版

福島県CAPグループ連絡会

福島県CAPグループ連絡会は、実施するワークショップにおいて、参加者の安全を第一とし、感染防止のためCAPスタッフ(以下スタッフ)は、次の感染対策を徹底します。

また、学校や施設・団体等が講じている感染症予防対策に準じて、感染予防を実践します。

(事前打ち合わせで確認)

1. スタッフの体調管理の徹底

- 訪問するスタッフは、体温測定と健康チェックをし、発熱又は風邪の症状がある場合は担当から外れます。(咳、倦怠感、のどの痛み、関節痛など)
- スタッフおよび、スタッフの家族が感染、または、疑いがある場合は、速やかに事務局に申告し、担当から外れます。(事務局で把握)
 - ※ 濃厚接触者となった場合も同じ。
- 日常生活の上でも、「3密(密集、密接、密閉)」の回避に努めます。
- 適度な運動、バランスのとれた食事、抵抗力を高め、適切な生活習慣を保持します。
- 手洗い・手指消毒を励行します。
- マスク着用を徹底し、飛沫拡散を防止します。(熱中症リスクが高い場合を除く)
- 感染が流行している地域間の移動は控えます。

2. ワorkshop実施において

- 訪問後すぐに、手洗い、手指消毒を行います。
- 感染防止に必要な物品は持参します。
- 人と接する際は適切な距離を確保します。
- 会場の広さに応じ、できる限り間隔を空け会場設営をするとともに、こまめな換気をします。
- 持参した荷物は、直接床に置かないように留意します。
- 受付の際には、密にならないよう距離を確保し対応します。
- ペンの共有を避けます。共有する場合は、その都度消毒したものを使用します。
- マスク着用。必要に応じて、マウスシールドやフェイスシールドを使用します。

《参考資料》

- ・「新しい生活様式」の実践例(6月19日)…厚生労働省
- ・「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント(5月29日)…厚生労働省
- ・学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～…文部科学省